

取扱説明書

保管用

YS-2009

LK用センサー・ユニット

(防雨型・置き型専用)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様 LK用センサー・ユニット

使用電圧／周波数

AC100V (±6%) 50Hz/60Hz

この取扱説明書のマークについて

- △警告 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
 △注意 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
 ❶ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
 ❷ このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

△警告

- ❶ 一般屋外用器具（防雨型）です。
振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガ、漏電・感電事故の原因となります。
- ❷ 次のような場所には取り付けしないでください。
 ○天井及び壁面
 ○補強材のない場所への取り付け（ボックスに取付ける場合を除く） ○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
 ○樹脂製ボックスカバーへの取り付けはしないでください。
 （埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取付けてください。）
 ○凹凸のある面には取り付けしないでください。
 ○雨水が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所
 ★防水性能が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
 ○浴室など湿気が多い場所への使用。○サウナへの使用。
 ★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
- ❸ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具の落下による「けが」の原因となります。
- ❹ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
- ❺ ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。
- ❻ 濡れた手で作業しないでください。
★感電の原因となります。
- ❼ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して発煙や発火の原因となります。

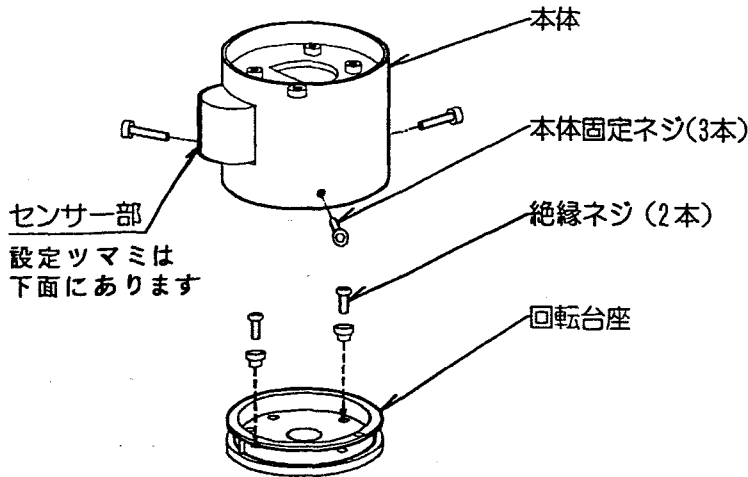
△注意

- ❶ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
- ❷ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- ❸ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。
- ❹ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。
- ❺ ヒビの入ったカバーや、一部欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。
- ❻ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。)

【器具構成図】

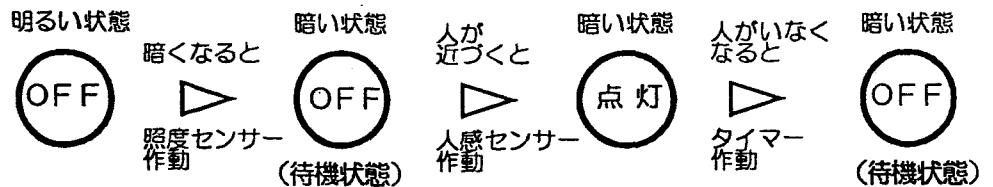


【付属品】

- 絶縁ネジ 2本
- 六角レンチ 1本
- 取扱説明書(本書) 1枚
- 保証とアフターサービスについて 1枚

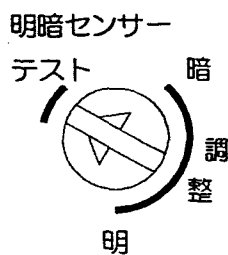
センサー機能について

■センサー動作



- 感知エリア内で人が動いている間は、点灯します。
- 感知エリア内で人が静止したり、エリアから人が離れると自動的に消灯します。

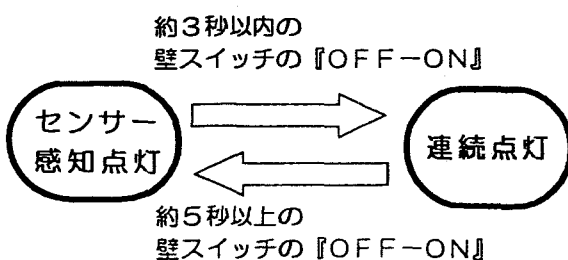
■テストモード 器具を設置したときなど、人感センサーの感知エリアを調整、確認することができます。



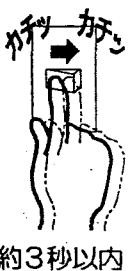
- 電源投入後約30秒間、強制的に点灯し、器具の結線作業を確認できます。
電源ON → 約30秒後 OFF → 人を感知 → 約5秒後 OFF
- 周囲が明るい時でも、人を検知するたびに、約5秒間点灯します。器具の周囲を歩き、感知エリアの確認、調整を行ってください。

【ご注意】感知エリア確認後は必ず『点灯照度設定ツマミ』を点灯照度調整位置にもどしてください。照度センサーが作動しません。

■連続点灯 壁スイッチを操作することにより、周囲の明るさ、人体検知に関係なく器具を点灯させることができます。



- 壁スイッチをOFFにしてから約3秒以内にONにすると連続点灯状態になります。連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサー感知点灯にもどります。
- 連続点灯状態の時に、壁スイッチをOFFにしてから約5秒以上してからONにするとセンサー感知点灯にもどります。

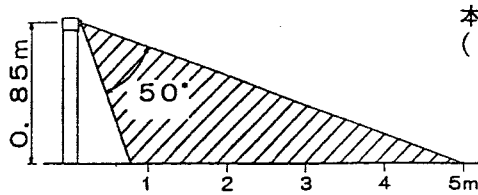
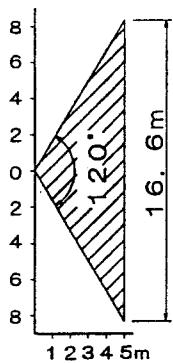


- 【ご注意】
- 連続点灯中に壁スイッチ操作(約3秒以内のOFF→ON)をおこなった場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯になります。
 - 壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

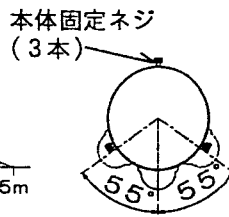
感知エリア (センサーが感知する範囲)

■センサー感知エリア

[水平感知エリア] [垂直感知エリア]



[センサー部可動範囲]



水平感知エリア方向が本体部を動かすことにより左右55°づつ(上図参照)調節できますので、本体固定ネジ(3本)をゆるめて感知エリア方向を十分検討の上設定してください。

設定後、十分に締め付け固定してください。

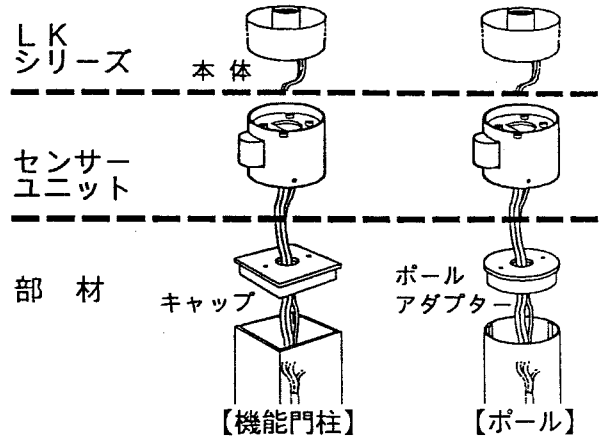
■器具の性能を確保するため、設置場所は感知エリアを考慮して決定してください。

- センサーの特性上、感知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体感知の信頼性がより向上します。
- センサー正面に向かって人が近づくような位置に設置しますと、感知しにくい場合があります。

取り付け場所の確認

△注意 センサー・ユニットはLKシリーズ対応仕様です。必ず適合器種と組み合わせてください。

センサー・ユニットは器具外結線仕様です。必ず適合ポール等に取り付け、ポール内で結線してください。

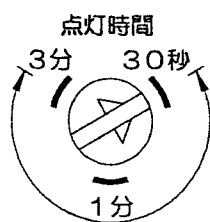


△注意 次のような場所への取り付けは注意してください。
★センサーの誤作動、故障の原因となります。

- 車のヘッドライト等、強い光が直接センサー部に入る場所
- 他の照明から光を受ける場所。
- 風などでよく揺れる植物等が近くにある場所。
- 感知エリア内に障害物のある場所。
- エアコンの吹き出しに近い場所。
- 不安定な場所や振動の激しい場所。
- 樹木、建物などの陰になる屋間でも暗い場所。

センサー設定について

点灯保持時間調節ツマミ

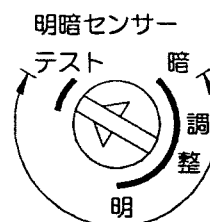


感知エリアより人がいなくなつてから消灯になるまでの時間が調節できます。

出荷時には『30秒』に設定してあります。

○いずれかの時間(30秒・1分・3分)を選ぶことができます。

点灯照度調節ツマミ



センサーが感知する周囲の明るさを調整とテストモードの切り替えができます。

出荷時には『テスト』に設定してあります。

○左に回すと暗い照度(約10ルクス)で感知・点灯します。
○右に回すと明るい照度(約100ルクス)で感知・点灯します。

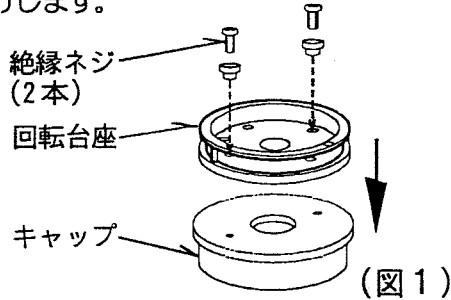
【ご注意】

●点灯照度は消灯状態から点灯状態へ切り替わる照度です。点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調節してください。

取り付け方 **△注意** 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

1. 回転台座を取り付けます。(図1)

回転台座を付属の絶縁ネジ(2本)でキャップに取付けします。

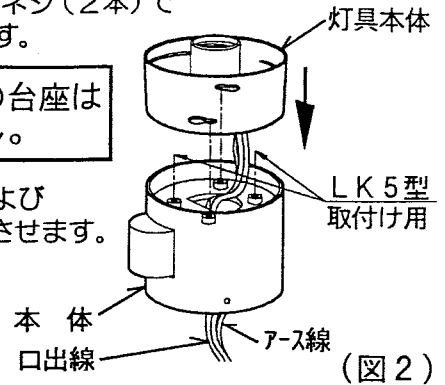


2. 本体に灯具本体を取り付けます。(図2)

灯具本体用取付けネジ(2本)で本体に取り付けます。

※灯具に同梱の台座は使用しません。

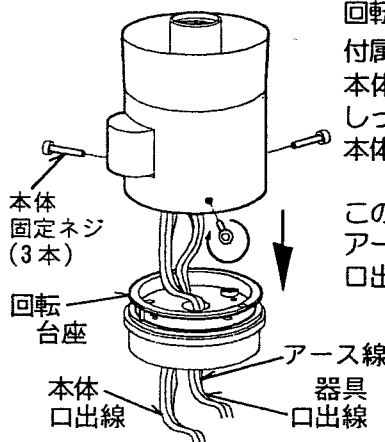
この時、口出線およびアース線を、貫通させます。詳しくは灯具の取扱説明書をご覧ください。



3. 回転台座に本体を取り付けます。(図3)

回転台座に本体を合せ入れ、付属の六角レンチを使用し本体固定ネジ(3本)をしっかりと締め込み、本体を固定して下さい。

この時、灯具口出線・アース線および本体口出線を、貫通させます。



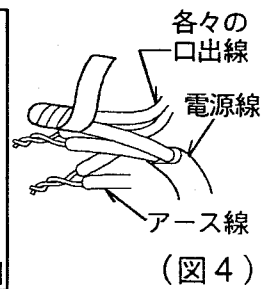
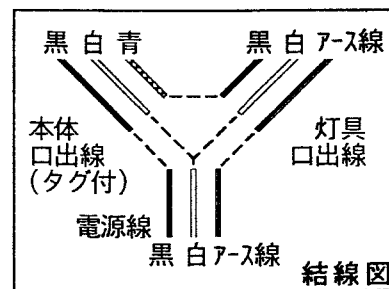
4. 電源線を接続します。(図4)

電源線の被覆をむいて各々の口出線と接続してください。その際、D種接地工事を施してください。

(下：結線図参照)

★不良の場合、感電・漏電の原因となります。

※本体口出線は灯具口出線と区別するため、タグを付けてあります。



5. キャップをセットします。

キャップを部材に固定します。詳しくは部材の取扱説明書をご覧ください。

6. ランプ・グローブ等をセットします。

詳しくは灯具の取扱説明書をご覧ください。

7. 必要に応じて感知エリアを調整します。(テストモードで点灯)

詳しくは『センサー機能について ■テストモード』『感知エリア』の項をご覧ください。

8. センサーの設定をします。

詳しくは『センサーの設定について』の項をご覧ください。

◆お手入れのしかた

1. 電源を切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番(器具本体のラベルでご確認ください)、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。